

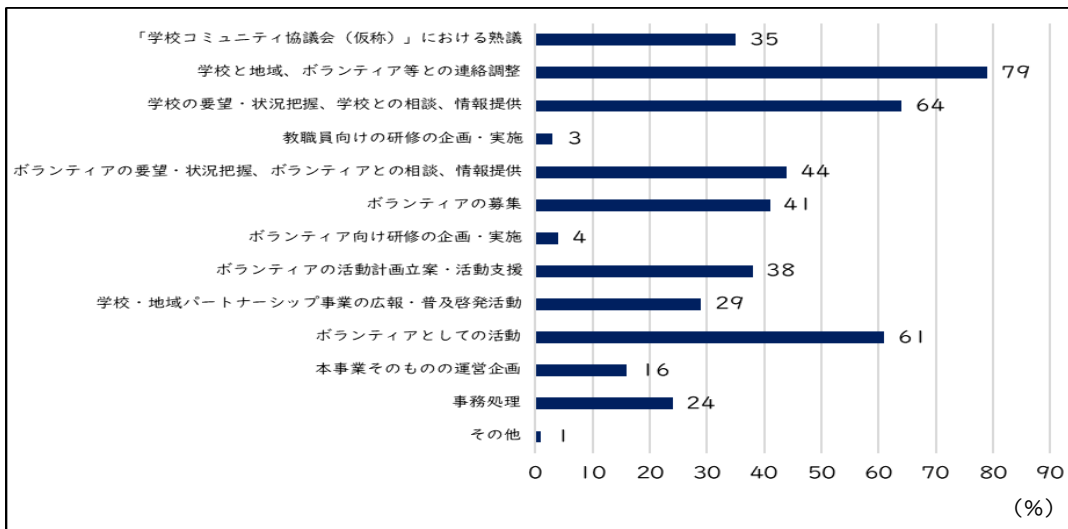
令和元年度奈良県学校・地域パートナーシップ事業にかかる調査結果  
**地域コーディネーターについて**

**地域コーディネーターの現状について**

1か月の平均活動時間数	8.5 時間	(昨年度9.6時間)
1か月の平均学校訪問回数	4.1 回	(昨年度4.6回)

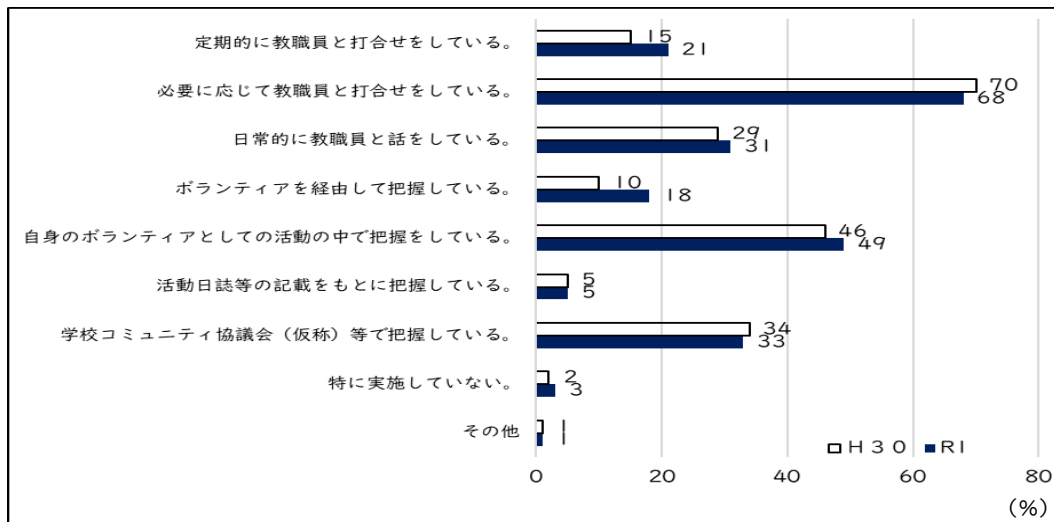
**地域コーディネーターの活動について**

コーディネーターとして取り組んでいる活動内容（複数回答）



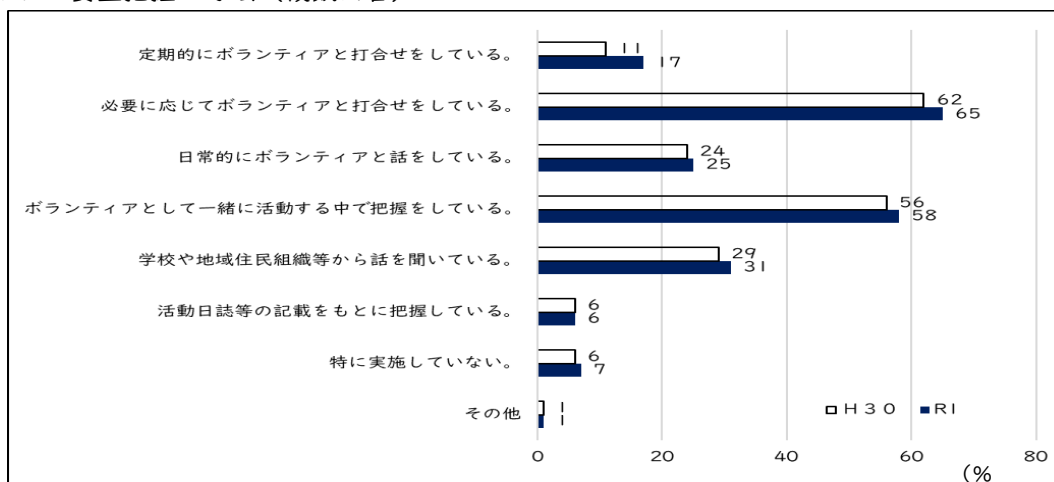
・コーディネーターが取り組んでいる活動は、自身のボランティアとしての活動だけでなく、学校と地域、ボランティア等との連絡調整、学校の要望・状況把握、学校との相談、情報提供など、多岐にわたっています。

学校の要望把握の方法（複数回答）



・必要に応じて教職員と打合せをしているコーディネーターの割合が最も高いですが、定期的な教職員との打合せや、日常的に教職員と話をする中で要望を把握している割合も増加しています。

## ボランティアの要望把握の方法（複数回答）



・ボランティアと、必要に応じて打合せをしたり、一緒に活動する中で要望を把握している割合が高いですが、定期的にボランティアとの打合せの機会を設けている割合も大きく増加しています。

## コーディネーターとしての役割が認知されてきています。

- 自らのボランティアとしての活動だけでなく、学校と地域、ボランティアの方々との間をつなぐ活動は、コーディネーターの基本的かつ重要な役割です。
- コミュニティ協議会及び学校運営協議会の場だけでなく、教職員やボランティアの方々と、日常的に連絡を取り合い交流することが大切です。
- 人と人とのつながりを広げるためにも、PTAなどへの学校・地域パートナーシップ事業の広報・普及啓発活動を積極的に進めていただくようお願いします。

## その他（地域コーディネーターの意見）

- 本事業を利用して、地域のボランティアが増え、学校との連携がさらに進むような活動をしていきたい。
- 学校・地域・各ボランティア団体が一体となって、子どもの安心・安全を確保したい。
- いろいろな体験や活動によって、子どもたちの感性を豊かにできるので、さらに充実していくよう、内容や回数等を工夫していきたい。
- コーディネーターを引き受けてから、多くの人たちに喜んでいただき、毎日よい時間を過ごさせてもらっている。
- 子どもたちにとって、ボランティアとの時間は貴重であり、重要だと考えている。
- 学校（校区）の再編にともない、地域学校協働活動の今後の在り方に不安を感じている。
- 高齢化とともに、60歳を過ぎても仕事を続けることも多くなり、ますます人材の確保が難しくなっている。
- 予算が削減されていると聞いているが、活動費の確保をお願いしたい。
- その他、事業継続の要望など。